

情報公開文書

作成日：2026 年 9 月 15 日

患者様各位

「両側内胸動脈を用いた多枝心拍動下冠動脈バイパス術における低侵襲冠動脈バイパス術と胸骨正中切開術の早期・遠隔成績の比較」に関するお知らせ

研究の背景

冠動脈バイパス術では、長期に良好な血流を維持するためのグラフト選択と、手術侵襲を小さくすることの両方が重要です。当院では、両側内胸動脈を用いた心拍動下冠動脈バイパス術を、胸骨正中切開または左胸部の小切開による低侵襲手術（MICS-CABG）で行ってきました。

研究の目的

両側内胸動脈を用いた多枝心拍動下冠動脈バイパス術について、MICS-CABG と胸骨正中切開術の周術期成績および遠隔成績を比較し、低侵襲手術の安全性と長期的な治療成績を検討することを目的とします。

対象となる患者様・研究期間

対象者：2015 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日までに、友愛医療センターで多枝心拍動下冠動脈バイパス術を受けた患者様。主要な比較解析では、このうち両側内胸動脈を使用した患者様を対象とします。

研究実施期間：倫理審査委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日まで（予定）。

研究に利用する情報

年齢、性別、体格、既往歴・併存疾患、心機能、冠動脈病変、手術日、手術方法、使用グラフト、吻合数、手術時間、周術期合併症、術後画像検査、死亡、心筋梗塞、脳卒中、カテーテル治療や再手術等の再血行再建、最終確認日などの診療情報を利用します。

研究に際して行うこと

主として電子カルテ、手術記録、画像情報、診療情報提供書等、通常診療の過程で得られた情報を収集・解析します。本研究のために新たな検査、投薬、手術を行うことはありません。研究目的で患者様・ご家族へ新たに連絡する必要がある場合は、倫理審査委員会承認された方法に従って実施します。

患者様の負担・不利益

既存の診療情報を利用するため、本研究への参加に伴う新たな身体的・金銭的負担は原則ありません。個人情報
の漏えいを防ぐため、研究用の番号を付して管理し、氏名、住所、電話番号等の直接個人を特定できる情報
を解析用データには含めません。

研究参加を希望されない場合

本研究への診療情報の利用を希望されない場合は、下記窓口までお申し出ください。お申し出によって今後の
診療上の不利益を受けることはありません。解析・公表の進行状況によってはデータを除外できない場合があ
りますので、ご了承ください。

研究成果の公表

研究成果は国内外の学会で発表し、医学学術誌に投稿する予定です。公表の際に患者様個人が特定される情報
を掲載することはありません。

研究責任者・お問い合わせ先

社会医療法人友愛会 友愛医療センター 心臓血管外科

研究責任者：山内 昭彦

〒901-0224 沖縄県豊見城市与根 50 番地 5

電話：098-850-3811（代表）